



在カンボジア日本国大使館
～在留邦人の皆様へ～

平成26年1月4日

野党・救国党によるデモ及び労働争議等について

現在、プノンペン及び各地において野党・救国党による大規模集会・デモ、工場労働者による抗議活動・ストライキ、土地問題活動家や僧侶による抗議活動が同時多発的に発生しています。これらのデモや抗議活動はこれまでおおむね平和的・非暴力な形で推移してきていましたが、新年に入り、特に労働者による抗議活動がエスカレートし、治安当局との間で衝突事件が発生し、犠牲者も出ています。今後事態がさらに悪化する可能性も排除できないところ、在留邦人の皆様におかれましては、引き続き情勢の推移に十分な注意を払うとともに、御自身と御家族の安全に最大限ご注意いただくようお願いいたします。

1 労働争議

- (1) 新年明けの2日から3日にかけて、プノンペン市内の Veng Sreng 通り（プノンペン国際空港から南約1Km地点）周辺の工業団地を中心に過激化した一部労働者による抗議活動がエスカレートし、治安当局との間で衝突が発生しました。報道によれば、労働者側による投石や工場施設の破壊や放火等が行われ、これに対する治安部隊による発砲のため数名の死者と多数の負傷者が出た模様です。
- (2) これまで抗議活動やストライキが発生していたプノンペンやバベットの経済特区においては、現在のところ概ね平穏な状況に戻っている模様ですが、今後については未だ予断できない状況にあります。

2 救国党による大規模集会・デモ

昨年12月15日より連日集会・デモが行われており、先週29日には5万人規模（報道ベース）のデモ行進が実施され、大規模な交通渋滞が発生しました。12月30日から1月4日まで大規模デモは一時休止した状態にありましたが、救国党は明5日に集会・デモを再開するとしています。救国党幹部は、本日（4日）朝の記者会見で、明日のデモは大規模なものとはせず、あくまでも平和的かつ非暴力で実施する旨述べていますが、他方、プノンペン都当局は、現状にかんがみ、状況が沈静化するまでの間はデモの実施を許可しない旨声明しています。このように状況は引き続き不透明であることから、不測の事態によって再び緊張が高まる可能性は排除できないと考えられます。

- 3 以上のような事態を踏まえ、カンボジア在留の皆様およびカンボジアに渡航される皆様におかれては、プレス等を通じて最新の治安関連情報の収集に努めるとともに、不測の事態が発生することを常に念頭に置きつつ、労働争議が発生している工場団地の近辺、デモや政治集会等には近づかないようにするなど、御自身と御家族の安全に最大限ご注意いただくようお願いいたします。

在カンボジア日本国大使館 領事班

電話：０２３－２１７１６１～１６４

電話交換業務時間：平日午前８時～正午、午後２時～午後５時４５分

領事窓口対応時間：平日午前８時～正午、午後２時～午後４時３０分

緊急連絡先（平日昼休み）：０１２－８３５４３０

緊急連絡先（平日夜間及び休館日）：０９５－７７７９１１

大使館ホームページ：<http://www.kh.emb-japan.go.jp>

Eメール宛先：consular.jpn@pp.mofa.go.jp

F a c e b o o k：<https://www.facebook.com/JapanEmbassyCambodia>

【お願い：在留届の内容に変更がある場合や帰国の場合には、必ず当館にご連絡下さい。】